

第 11 期 B コース（カナダ）帰国レポート

令和 5 年 9 月 1 日（金）に日本を発ち、カナダのオンタリオ州及びブリティッシュコロンビア州で留学生生活を始めた第 11 期 B コース研修生 23 人が、約 10 か月間の留学生生活を終え、令和 6 年 6 月 28 日（金）、日本に帰国しました。

○ カナダ（オンタリオ州） 帰国レポート

令和 6 年 6 月 25 日（火）、長い間お世話になったホストファミリーとの別れを惜しみながら、帰国前に実施される特別プログラムの会場であるトロント大学に集合しました。久しぶりに仲間と再会した研修生は、とても嬉しそうでした。思い出が詰まった荷物を自室に運ぶ際も、お互いに声をかけ、助け合っていました。それぞれが異なる場所で様々な経験を積み、一人一人が大きく成長することができた 10 か月でした。

《特別プログラムの第 1 日》

帰国前の 2 日間の特別プログラムでは、集団で力を合わせて課題を解決することの重要性を改めて考えました。「What does leadership mean to you?（あなたにとってリーダーシップとは何を意味するか）」という問いに、英語で時間をかけて考え、自身の将来の姿について具体的にイメージすることができました。カナダでの生活を、研修生たちは以下のように振り返っています。

- I loved talking with my friends, and it made me feel relaxed. I'm excited to go to other countries to learn about different cultures.
- I realized that most of the things I worried about might go well. We don't need to worry about things too much.
- We can change if we change our environment.



< 食事の様子 >



< 特別プログラムの様子 >



< グループワークの様子 >

《特別プログラムの第 2 日》

翌日の特別プログラムでは、トロント大学の学生 2 人を講師として招き、彼らの大学生活や、専攻分野についてお話を聞きました。その後、トロント大学のキャンパスを 2 グループに分かれて散策しました。特別プログラムの最後、一人一人が前に出て自身の留学生活で「チャレンジしたこと（Challenges）」と「これからも大切にしたいこと（Takeaways）」をテーマにプレゼンテーションをしました。堂々と英語でプレゼンテーションする姿は、大変立派で一人一人の大きな成長を感じることができました。



< キャンパスツアーの様子（2 枚） >



< プレゼンテーションの様子 >

カナダのオンタリオ州で過ごす最終日、バスに荷物を運び入れ、トロント空港へ向かいました。約13時間のフライト後、研修生は元気に日本に帰国しました。成田空港で実施した解団式では、東京都教職員研修センターの職員から次のような言葉が送られました。「解団式を迎える今日は、新たな始まりの日でもあります。留学で得た貴重な経験や知識を胸に、これからの人生に新たな一歩を踏み出していきましょう。」

研修生たちの明るい笑顔と何事にも積極的に取り組む姿勢は、研修生の今後のさらなる飛躍を実感させるものでした。カナダでの留学生活は、今後の目標に向けて新たな一歩を踏み出すための重要なステップとなりました。



＜カナダ（オンタリオ州）に留学した研修生たち＞



＜解団式の様子＞

○ カナダ（ブリティッシュコロンビア州）帰国レポート

令和6年6月25日（火）、研修生たちは、ホストファミリーに別れを告げ、帰国前の「特別プログラム」が実施される会場であるブリティッシュコロンビア大学に集合しました。少し涙ぐみながらお世話になった方々に、別れの挨拶をしていた研修生が印象的でした。

《特別プログラムの第1日》

研修生はブリティッシュコロンビア大学にて、リーダーシップに関する特別プログラムとして、まず初日にカナダでの留学生活を「留学前」、「留学当初」、「留学が半分過ぎたとき」、「そして留学を終えようとしている現在」の4点に分けてグループで振り返りを行いました。ポスタープレゼンテーションの形式で発表し、質疑応答を通して、留学を通して得た成果について整理し、考えを深めました。



＜ホストファミリーとの別れ＞



＜留学生活を振り返り、グループで発表する場面＞

《特別プログラムの第2日》

「What Makes A Leader?」をテーマに、3人のブリティッシュコロンビア大学の学生と英語での交流を行いました。特に、日本とカナダで育った学生からは、自身のアイデンティティについて悩みながらもどのように自分の長所であるコミュニケーション力を活用し、リーダーシップを発揮するかについて話を聞くことができました。研修生は、大変刺激を受けた様子で、Student Leadership Summitが終了した後も個別に質問をしていました。

Student Leadership Summitの後は、ブリティッシュコロンビア大学の学生の案内によるキャンパス

ツアーを行いました。案内をしてくれた学生からは、大学を選んだ理由や専攻学科、大学の設備や大学生活、将来の目標などについて話を聞くことができました。また、この大学生からの話を通して、研修生たちは海外大学進学も進路選択の一つであると捉え、海外大学進学に向けて意識を高めることができました。

特別プログラムの最後に、約 10 か月間の留学生生活を振り返るプレゼンテーションを英語で行いました。留学を通して自分がどのようなことに力を入れたのか、そしてどのように自分が変わったのか、今後どのように生きていきたいのかなどについて、流暢な英語を用い、自信をもって発表を行いました。各々の成長ぶりがうかがえる素晴らしい発表内容でした。研修生たちの、相手を意識したコミュニケーション能力や英語における表現力の向上について見取ることができました。



<Student Leadership Summit の様子 (3枚) >



<ブリティッシュコロンビア大学キャンパスツアーの様子 (2枚) >



<プレゼンテーションの様子>

全ての留学プログラムを終え、カナダ ブリティッシュコロンビア州に留学していた研修生たちは令和 6 年 6 月 28 日 (金) に、無事帰国しました。成田空港で行われた解団式では、引率した東京都教職員研修センターの職員から「これで終わりではなく、これからが新しいスタートになります。留学で得た成果をまとめ、その成果をぜひ広く東京都そして日本に還元して行ってください。そして、皆さんが世界を舞台に活躍することを期待しています。」と伝えました。



<キャンパス内での集合写真>



<解団式の様子>